

第2回JA種子屋久
協同組合大学



▲講義を行う桐原章氏

「10月31日」本所大会議室において、第2回JA種子屋久協同組合大学を開催しました。鹿兒島県農業協同組合中央会担い手法人サポートセンター長の桐原章氏による「協同組合に結集する生産部会と組織経営体」と題した講義が行われ、その中で、JAそお鹿兒島・ピーマン部会の成功事例が紹介され、その事例では農業公社・JA・行政が一体となり、実践研修から就農に至るまで、経営分析・カウンセリング等を行い、問題意識や方向性を共有した結果、新規就農者の定着が実現したというもので、受講生も興味をもつて聞き入っていました。

イオン来島
安納いも収穫体験！

「11月21日」種子島にイオン北関東支社長を始め6名の方々が訪れ、西之表安納地区の日高三男さんの圃場にて、安納いもの圃場見学を行いました。イオンは、くみあい食品を通しての安納いもの取引先であり、現地での収穫風景をとり、販売に活かそうと圃場見学に合わせて、収穫体験も行いました。最後に、より一層安納いもの販売に力を入れたいと語ってくれました。



▲収穫風景を写真に納めていました

農産物で応援！
鹿兒島レブナイズ



▲鯨島組合長との記念撮影

「11月4日」JA種子屋久は、西之表市市民体育館でプロバスケットボールチーム鹿兒島レブナイズと東京八王子トレインズの試合の開催セレモニーにおいて、農産物を贈呈しました。種子島名産の安納芋（もみじ・紅）それぞれ10kgずつ両チームへ贈呈し、安納芋をいっぱい食べ、これからの試合も頑張ってもらいたいと期待を込め、地元の農産物で応援しました。

出荷迫る
屋久島ぼんかん祭

「11月21日」屋久島平内において、ぼんかん祭が行われました。心となり屋久島にぼんかんを伝えた黒葛原兼成翁の偉業を称え、屋久島ぼんかんの発展を祈願する行事です。屋久島ぼんかんは1924（大正13）年、黒葛原翁が平内の地形や気温などの自然条件が栽培に適していることとに着目して台湾の苗木を移植し、平内で国内初めてのぼんかん栽培に成功しました。今年のぼんかんは2度の台風による被害もあり収量は例年より減収が見られますが、最高品質の屋久島ぼんかんが12月から出荷できることを生産者・JA一同祈願しました。



▲ぼんかん祭の様子

1月の運勢
モナ・カサンドラ



牡羊座
3/21
～ 4/19

【全体運】 プレッシャーを感じやすいよう。肩肘を張らず、周囲の言葉に耳を傾けてみると◎。気晴らしには運動がベスト
【健康運】 寒さ対策が重要。小まめに動くのも有効
【幸運を呼ぶ食べ物】 シュンギク